



あいなん逸品図鑑 その④



「久良のぶり」

久良漁業協同組合

販売担当

濱本 涼さん



愛媛CATV
動画



▲養殖業者が育てた自慢のブリをPRする久良漁協の濱本涼さん。



▲ブリの水揚げの様子。1年半から2年ほどかけて4~5kgに育て、出荷しています。

久良漁業協同組合では、組合員である養殖業者と連携して、冬期限定でブリを個人宅などに直販する事業を実施しています。久良湾やその沖合の漁場は水温や潮の流れなどが養殖に適しており、恵まれた漁場環境で育てたブリを「久良のぶり」としてブランド化しています。

販売方法はラウンドと呼ばれる丸ごと一尾の状態や、片身のフィレ加工、頭や骨付きなどがあり、消費者の要望に応えるようにしています。「久良のぶり」は西日本など広い範囲で水揚げした翌日に届くため鮮度抜群で、根強いリピーターを獲得しています。

ブリを購入した方からの評判も良く、「おいしかったので今年もよろしく」という声が多くあると話すのは久良漁協の濱本涼さん。刺し身や塩焼きが特におすすめと言いつつ、「多くの方にうちのブリがおいしいということを知ってもらうためにも、これから販路を広げていきたい」と目標を語りました。

投稿写真

読者(町民)の皆さまが撮影した写真を掲載します。



「サイクリング・パラダイス in あいなん 2020」

愛南町観光協会では、「愛媛サイクリングの日」に合わせてサイクリングイベントを開催しました。今年には南宇和高校と共同開催で、津島高校と川之石高校も参加し、イベントを盛り上げてくれました。

コースは西海ふれあい公園をスタートし、外泊「石垣の里」、高茂岬を巡る全長約30キロメートル。愛南町の美しい景色と文化に触れてもらいました。

今年もジャスティス岩倉さんをゲストに迎え、サイクリングの先導車とフライパン曲げショーをやってもらいました。

- ▶ 撮影者：愛南町観光協会 ▶ 撮影日：11月8日(日)
- ▶ 撮影場所：高茂岬および外泊地区



写真募集中!



愛南町
ホーム
ページ

◀ 前列から津島高校、川之石高校、南宇和高校